

担当講師名	墨 昌芳
講義題目	観光宮崎の歴史と今を考える
講義内容 (シラバス掲載用)	<p>観光は地域経済への波及効果が大きいことから、全国各地で観光客誘致のための積極的な取り組みが行われております。そのため、数多くの観光地（選択肢）の中で、自分たちの地域（宮崎）が選ばれるためには、地域の観光素材を「観光商品」に組み込み、市場に対して戦略的にマーケティング活動を行うことが不可欠です。</p> <p>そこで、本講義では、宮崎の観光の歴史を振り返りながら（特に宮崎観光の父と言われる岩切章太郎氏の観光哲学を学びながら）、観光マーケティングシートを用い、宮崎県に観光客を誘致するための戦略を皆さんと考えていきます。</p> <p>また本講義では、関係する新聞記事や雑誌、あるいは論文なども取り上げて、重要な論点を皆さんと考えていきます。</p>
	<p>コーディネート科目の成績評価は次の通りです。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・授業への積極的な参加 30点</li><li>・小テストの配点 各回の評点 A：5点、B：4点、C：3点 (12回、但し 県知事・宮崎市長等特別講師の分は除く)</li></ul> <p>★出席回数が12回未満の学生は、出席不足の理由から単位取得はできません。 ※ 遅刻は30分以内として出席を認めるが、その場合、遅刻3回の場合1回の欠課、遅刻6回の場合2回の欠課、遅刻9回の場合は3回の欠課扱いとする。 ※ (出席については厳粛に対応します)</p>

<p>担当講師名</p>	<p>宇田津 徹朗</p>
<p>講義題目</p>	<p>宮崎の農業 –そのあけぼのと歩み–</p>
<p>講義内容 (シラバス掲載用)</p>	<p>この講義では、宮崎の農業について、縄文時代の終わりの農耕開始期から近現代までの歩みを概説しながら、「農業」という視点から本県の風土と文化について考える。          主な内容は以下の3つである。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 宮崎の農業のあけぼの              最新の研究成果から、東アジアの農耕文化の成立における宮崎を含む南九州の位置づけを紹介するとともに農耕開始期の宮崎の姿を推定する。</li> <li>2. 宮崎の焼畑              今日、環境と調和した農業として取り上げられている宮崎県椎葉村における「焼畑」の仕組みと特性を平易に紹介し、環境と農業と社会の関係について紹介する。</li> <li>3. 宮崎の農業の歩み              近世から現代までの宮崎県における栽培作物の変遷や日向夏やマンゴー、宮崎牛などの特産品の確立についての歩みを紹介するとともにこれからの宮崎の農業を考える視点について考える。</li> </ol>
<p>成績評価 及び 出席基準</p>	<p>コーディネート科目の成績評価は次の通りです。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・授業への積極的な参加 30点</li> <li>・小テストの配点 各回の評点 A: 5点、B: 4点、C: 3点              (12回、但し 県知事・宮崎市長等特別講師の分は除く)</li> </ul> <p>★出席回数が12回未満の学生は、出席不足の理由から単位取得はできません。          ※遅刻は30分以内として出席を認めるが、その場合、遅刻3回の場合1回の欠課、遅刻6回の場合2回の欠課、遅刻9回の場合は3回の欠課扱いとする。          ※(出席については厳粛に対応します)</p>

<p>担当講師名</p>	<p>教授 大館 真晴</p>
<p>講義題目</p>	<p>それぞれの海幸山幸神話 —古事記・日本書紀の比較から—</p>
<p>講義内容 (シラバス掲載用)</p>	<p>「それぞれの海幸山幸神話」という題を目にして、「海幸山幸神話は1つではないのか?」、「海幸山幸神話は幾つもあるのか?」などの疑問を持たれた方がいるのではないだろうか。</p> <p>たとえば、天孫降臨の物語を例にあげると、『古事記』には1種類、『日本書紀』には5種類もの天孫降臨の物語が記載されている。しかも、その物語はそれぞれ異なった物語となっているのである。さらには載『古事記』と『日本書紀』という2つの書物についても大きな相違が見られる。例えば『古事記』は漢字の音・訓を用いた和文体で記された国内向けの書とされ、『日本書紀』は漢文体で記された海外向けの書とされている。これらのことだけをあわせて考えてみても、日向神話は様々な様相を有するといえる。</p> <p>しかし、現在までの研究史をしてみると、「日向神話」という概念で一括りにして考察したものが多く、『古事記』、『日本書紀』それぞれの物語について、その個別性や独自性を考察したものが少なかったといえる。</p> <p>本講義は、『古事記』、『日本書紀』のヒコホホデミノミコトとトヨタマヒメの歌物語を中心にとりあげ、それぞれの書が持つ独自の世界観や思想について論究するものとする。また、その考察にともない、なぜ古代日向の地が、物語の舞台として魅力をもったのかも論じてみたい。</p>
<p>成績評価 及び 出席基準</p>	<p>コーディネート科目の成績評価は次の通りです。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・授業への積極的な参加 30点</li> <li>・小テストの配点 各回の評点 A:5点、B:4点、C:3点 (12回、但し 県知事・宮崎市長等特別講師の分は除く)</li> </ul> <p>★出席回数が12回未満の学生は、出席不足の理由から単位取得はできません。</p> <p>※遅刻は30分以内として出席を認めるが、その場合、遅刻3回の場合1回の欠課、遅刻6回の場合2回の欠課、遅刻9回の場合は3回の欠課扱いとする。</p> <p>※(出席については厳粛に対応します)</p>

担当講師名	村上 啓介
講義題目	宮崎県の災害文化
講義内容 (シラバス掲載用)	<p>九州山脈の東に位置する宮崎県は、日本でも有数の豪雨地域であり、豪雨災害や土砂災害を経験してきた。また、日向灘地震や東南海・南海地震、それら地震による津波被害も懸念される地域である。講義では、宮崎県におけるこれまでの自然災害を振り返るとともに、今後の防災の在り方について危機管理の視点を交えて講話する。</p>
成績評価 及び 出席基準	<p>コーディネート科目の成績評価は次の通りです。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・授業への積極的な参加 30点</li> <li>・小テストの配点 各回の評点 A: 5点、B: 4点、C: 3点 (12回、但し 県知事・宮崎市長等特別講師の分は除く)</li> </ul> <p>★出席回数が12回未満の学生は、出席不足の理由から単位取得はできません。</p> <p>※遅刻は30分以内として出席を認めるが、その場合、遅刻3回の場合1回の欠課、遅刻6回の場合2回の欠課、遅刻9回の場合は3回の欠課扱いとする。</p> <p>※(出席については厳粛に対応します)</p>

担当講師名	川瀬 隆千
講義題目	「地域への愛着」をつくる ～社会心理学的観点からの考察～
講義内容 (シラバス掲載用)	<p>地域づくりや地域の課題解決には住民の協力が欠かせないが、協力を得るのは容易ではない。協力にはコストがかかるためである。地域づくりへの住民の参加・協力は社会的ジレンマを含んでいる。</p> <p>今回は社会心理学的な観点から、地域への愛着が協力を引き起こす可能性について検討したい。地域づくり、地域の問題解決に積極的に貢献しようとする人は地域に愛着を持っていることが分かっている。地域への愛着は協力を引き起こす要因、社会的ジレンマを解決するカギになるだろう。</p> <p>従来、地域への愛着を規定する要因として個人属性が検討されてきたが、ここでは人々の地域への評価に焦点を当てる。自然環境・景観や施設設備などの整備・充実といった地域の物理的環境への評価と、地域の治安や人間関係など地域の社会的環境への評価が地域への愛着とどのように関連するのか検討し、地域への愛着が形成されるプロセスを示したい。</p> <p>その上で、地域への愛着を形成する具体的な取り組みを紹介する予定である。</p>
成績評価 及び 出席基準	<p>コーディネート科目の成績評価は次の通りです。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 授業への積極的な参加 30 点</li> <li>・ 小テストの配点 各回の評点 A : 5 点、B : 4 点、C : 3 点 (12 回、但し 県知事・宮崎市長等特別講師の分は除く)</li> </ul> <p>★出席回数が 12 回未満の学生は、出席不足の理由から単位取得はできません。</p> <p>※ 遅刻は 30 分以内として出席を認めるが、その場合、遅刻 3 回の場合 1 回の欠課、遅刻 6 回の場合 2 回の欠課、遅刻 9 回の場合は 3 回の欠課扱いとする。</p> <p>※ (出席については厳粛に対応します)</p>

担当講師名	吉井 千周
講義題目	宮崎と憲法
講義内容 (シラバス掲載用)	<p>国会、内閣、裁判所といった国の重要な機関を規定している憲法は、国の基本法として私たちの生活を根底で規定する大切な法規です。日本というこの国のありかたを考えると「日本国」という大きな枠組みでじっくり考えてしまう憲法は、やたら難しいものだと思われがちで、少しとっつきにくい存在のように見えたりします。</p> <p>でも待ってください。中学・高校を通して憲法は&lt;日本でもっとも大切なルール&gt;として扱われてきたはずですが、その中身を理解せずただ「大切だから大切」とだけ覚えてきてしまっていないですか。また憲法とはそれほど私たちの住む宮崎から遠く離れた「日本国」のことを扱うものなのではないでしょうか。宮崎も日本の一部なのに関係ないのでしょうか。</p> <p>憲法学はもちろんのこと、法学の学問に従事する研究者の多くは、憲法こそ「わたしたちの最も身近に存在するルール」と考え、憲法が日常生活の周辺に多く関わっていると考えています。憲法は一見取っつきにくそうに見えるけれども、話をしてみたら意外とすごく面白かったりするのです。この宮崎で生活する私たちにとっても、憲法は身近な存在で「別に難しい話」ではありません。むしろ不思議と近年の宮崎のニュースは、憲法について考え直す機会を多く与えてくれているようにも思います。</p> <p>そこでこの講義では、私たちの身近な生活や、身近な宮崎からみた憲法について考えてみたいと思います。またこの授業ではプレゼンテーションのやり方も大変こだわっています。ぜひ楽しみにしてください。</p> <p>キーワード：土呂久、青島、橘通り再開発、コンビニエンスストア</p>
	<p>コーディネート科目の成績評価は次の通りです。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・授業への積極的な参加 30点</li> <li>・小テストの配点 各回の評点 A：5点、B：4点、C：3点 (12回、但し 県知事・宮崎市長等特別講師の分は除く)</li> </ul> <p>★出席回数が12回未満の学生は、出席不足の理由から単位取得はできません。 ※ 遅刻は30分以内として出席を認めるが、その場合、遅刻3回の場合1回の欠課、遅刻6回の場合2回の欠課、遅刻9回の場合は3回の欠課扱いとする。</p>

機関名 都城工業高等専門学校

科目名 「宮崎の郷土と文化」

	※（出席については厳粛に対応します）
--	--------------------

<p>担当講師名</p>	<p>外山 英男</p>
<p>講義題目</p>	<p>宮崎の山の幸、椎茸をはじめとするキノコ類の機能と活用</p>
<p>講義内容 (シラバス掲載用)</p>	<p>宮崎県で古くから栽培されている椎茸には様々な機能性成分が含まれ活用されています。今回はその中から、食物繊維やエリタデニン、ビタミン D 等についてできるだけわかりやすく解説を行ないます。これで椎茸をより効果的に活用していただければ幸いです。</p> <p>また、椎茸にはグアニル酸という、うま味物質がありますが、干しシイタケの水戻しや調理に関する「ちょっとした知識」が不足していますとせっかくのうま味物質を台無しにしてしまいますので、この点についても解説します。この解説で本物の椎茸のうま味を味わっていただければ幸いです。</p> <p>さらに、県内外、国内外のキノコ類の栽培状況、食品開発状況、活用例について解説します。せっかくの機会ですので、研究室の学生が考案して開発中の「椎茸せんべい」もご紹介します。</p> <p>最後に、キノコ類にはセルロースの他にリグニンも分解できるという特性があり、これを利用してバイオエタノールを作る研究も盛んですので、そのさわりを少し解説して本日の講義を終えたいと思います。</p>
<p>成績評価 及び 出席基準</p>	<p>コーディネート科目の成績評価は次の通りです。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・授業への積極的な参加 30 点</li> <li>・小テストの配点 各回の評点 A: 5 点、B: 4 点、C: 3 点 (12 回、但し 県知事・宮崎市長等特別講師の分は除く)</li> </ul> <p>★出席回数が 12 回未満の学生は、出席不足の理由から単位取得はできません。</p> <p>※ 遅刻は 30 分以内として出席を認めるが、その場合、遅刻 3 回の場合 1 回の欠課、遅刻 6 回の場合 2 回の欠課、遅刻 9 回の場合は 3 回の欠課扱いとする。</p> <p>※ (出席については厳粛に対応します)</p>



担当講師名	渥美 聡孝
講義題目	宮崎県の薬用植物と漢方
講義内容 (シラバス掲載用)	<p>宮崎県は海拔 0m～1758m の祖母山までの高低差を有し、年間雨量は 2000～3000mm を超え、全国的に最も高温多雨の地域の一つである。県内には亜熱帯性、暖温帯性、温帯性までの 3 つの機構層の植物が分布生育すると共に、地史的背景や火山的背景等を持つ植物も加わる等、多様な植物相を形成している。このため、生育する植物の種類は鹿児島に次いで多いと言われているが、その中には薬用である植物も多い。</p> <p>今回は宮崎県に自生する植物の中で、薬用となる植物を紹介する。また宮崎の郷土料理に使われている薬用植物にも注目し、私達と薬用植物、そして漢方との関わりについて考察する。</p>
成績評価 及び 出席基準	<p>コーディネート科目の成績評価は次の通りです。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・授業への積極的な参加 30 点</li> <li>・小テストの配点 各回の評点 A : 5 点、B : 4 点、C : 3 点 (12 回、但し 県知事・宮崎市長等特別講師の分は除く)</li> </ul> <p>★出席回数が 12 回未満の学生は、出席不足の理由から単位取得はできません。</p> <p>※ 遅刻は 30 分以内として出席を認めるが、その場合、遅刻 3 回の場合 1 回の欠課、遅刻 6 回の場合 2 回の欠課、遅刻 9 回の場合は 3 回の欠課扱いとする。</p> <p>※ (出席については厳粛に対応します)</p>

担当講師名	中村 周作
講義題目	伝統的飲食文化とそれらを核とする地域おこし 日本全域からみた宮崎県飲食文化の特徴
講義内容 (シラバス掲載用)	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 講義の趣旨</li> <li>2. 問題の所在～酒と肴を取り巻く状況～無形文化遺産「和食」、「酒離れ」、「魚離れ」</li> <li>3. 日本全域における嗜好酒類の地域的展開</li> <li>4. 日本全域における伝統的魚介類食の地域的展開</li> <li>5. 宮崎県域における酒類嗜好の展開</li> <li>6. 宮崎県域における伝統的魚介類食の展開</li> <li>7. 文化を活用した地域おこしへの提言 ドリンク&amp;イート・ツーリズムを楽しもう！</li> </ol>
成績評価 及び 出席基準	<p>コーディネート科目の成績評価は次の通りです。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・授業への積極的な参加 30点</li> <li>・小テストの配点 各回の評点 A: 5点、B: 4点、C: 3点 (12回、但し 県知事・宮崎市長等特別講師の分は除く)</li> </ul> <p>★出席回数が12回未満の学生は、出席不足の理由から単位取得はできません。</p> <p>※遅刻は30分以内として出席を認めるが、その場合、遅刻3回の場合1回の欠課、遅刻6回の場合2回の欠課、遅刻9回の場合は3回の欠課扱いとする。</p> <p>※(出席については厳粛に対応します)</p>

担当講師名	中本 幹生
講義題目	神話から考える環境保護思想
講義内容 (シラバス掲載用)	<p>地球規模で自然環境破壊が進む今日、その破壊をいかに食い止め、自然を保護するかという課題は、現代における最も重要な社会問題の一つとなっています。その意味で、従来の自然に対する人間の関わり方を考え直し、これからあるべき自然と人間の関係のあり様を模索する必要に我々は迫られています。</p> <p>このような問題関心のもとに、本講義では、自然と人間の関係について思想的レベルで問い直してみたいと思います。その際、自然に対する人間の見方、即ち自然観に注目してみます。古代においては、自然を神とみなして畏怖の対象とする、自然崇拝という自然観がありました。日本の神話に登場してくる多くの神々は、このように自然現象が神格化されたものです。宮崎は神話のふるさとと呼ばれるように、古代の日本の神話の舞台となっており、まずはそのような宮崎ゆかりの神々を紹介しつつ、古代の自然観を見てみます。その上で、現代の環境破壊の淵源を探るべく、近代西洋の自然観を紹介し、さらに西洋文化のバックボーンの一つであるユダヤ・キリスト教における人間観および自然観も検討します。このように洋の東西に渡って対比的に自然観を概観し、それらを踏まえた上で、これからあるべき自然と人間の関係について皆さんと考えてみたいと思います。</p> <p>具体的には、以下のように講義を進めます。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 序</li> <li>2 古代における自然と人間の関係       <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 宮崎ゆかりの神々</li> <li>(2) 自然崇拝</li> </ol> </li> <li>3 近現代における自然と人間の関係       <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 近代の機械論的自然観</li> <li>(2) ユダヤ・キリスト教における自然と人間</li> </ol> </li> <li>4 これからあるべき自然と人間の関係とは？</li> </ol>
	<p>コーディネート科目の成績評価は次の通りです。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・授業への積極的な参加 30点</li> <li>・小テストの配点 各回の評点 A：5点、B：4点、C：3点 (12回、但し 県知事・宮崎市長等特別講師の分は除く)</li> </ul> <p>★出席回数が12回未満の学生は、出席不足の理由から単位取得はできません。 ※ 遅刻は30分以内として出席を認めるが、その場合、遅刻3回の場合1回の欠課、遅刻6回の場合2回の欠課、遅刻9回の場合は3回の欠課扱いとする。 ※ (出席については厳粛に対応します)</p>

担当講師名	楠田 剛士
講義題目	黒木和雄と戦争映画
講義内容 (シラバス掲載用)	<p>黒木和雄（1930-2006）は、少年時代を満州で過ごし、1942年から宮崎県えびの市で暮らした、宮崎ゆかりの映画監督である。黒木は学徒動員中の1945年5月に空襲で級友を失い、8月に敗戦を経験した。</p> <p>1965年に、広島に被爆者が登場する劇映画『飛べない沈黙』でデビューする。1978年の『原子力戦争』では福島原発がある海辺の町が舞台となる。『TOMORROW／明日』（1988）では長崎原爆投下前日を描き、『父と暮らせば』（2004）では広島原爆三年後を描く。遺作『紙屋悦子の青春』（2006）でも特攻兵が登場する。このように戦争・核は黒木の生涯にわたる映画モチーフであった。</p> <p>そのなかでも2003年の『美しい夏キリシマ』は、黒木の戦争体験をもとにした映画である。『TOMORROW／明日』『父と暮らせば』と合わせて、「戦争レクイエム三部作」と呼ばれているが、本作の舞台は1945年8月の宮崎県霧島である。</p> <p>郷土を舞台とする映画（文化メディア）のなかで、「戦争の記憶」がどのように表現されているのか。その表現をどのように読み解くことができるのか。そして戦後70年以上経過した現在にどのように結びつくのか。これらの問いについて、いくつかの具体的な場面を視聴しながら考察を行うこととする。</p>
成績評価 及び 出席基準	<p>コーディネート科目の成績評価は次の通りです。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・授業への積極的な参加 30点</li> <li>・小テストの配点 各回の評点 A:5点、B:4点、C:3点 (12回、但し 県知事・宮崎市長等特別講師の分は除く)</li> </ul> <p>★出席回数が12回未満の学生は、出席不足の理由から単位取得はできません。</p> <p>※遅刻は30分以内として出席を認めるが、その場合、遅刻3回の場合1回の欠課、遅刻6回の場合2回の欠課、遅刻9回の場合は3回の欠課扱いとする。</p> <p>※（出席については厳粛に対応します）</p>

担当講師名	オッチ デボラ
講義題目	日本・宮崎にあるキャラ文化&ローカルブランディング Character culture and local branding in Miyazaki and Japan
講義内容 (シラバス掲載用)	<p>In the present day, kyara 'characters' derived from manga or created for other purposes are ubiquitous in the Japanese linguistic landscape. These are humanlike objects who can resemble actual humans, animals, vegetables, inanimates, and even fantastic objects.</p> <p>Why are kyara so popular? What are the sources of their power? How are they effective in creating local brands in Miyazaki?</p> <p>To understand the popularity of kyara we will look back to some of the earliest writings in Japan, in which anthropomorphized images appear in religious texts. We can see how they are used throughout Japan's history into the present day. Let's also look at kyara from the perspective of cognitive psychology to understand how humans respond to them. In doing so, perhaps we can see why kyara-- including Miyazaki's kyara -- are so popular and so successful in guiding human behavior towards maintaining the ends of civil society, including capitalist consumption.</p>
	<p>コーディネート科目の成績評価は次の通りです。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・授業への積極的な参加 30点</li> <li>・小テストの配点 各回の評点 A:5点、B:4点、C:3点 (12回、但し 県知事・宮崎市長等特別講師の分は除く)</li> </ul> <p>★出席回数が12回未満の学生は、出席不足の理由から単位取得はできません。 ※ 遅刻は30分以内として出席を認めるが、その場合、遅刻3回の場合1回の欠課、遅刻6回の場合2回の欠課、遅刻9回の場合は3回の欠課扱いとする。 ※ (出席については厳粛に対応します)</p>